

# 令和4年度(第35回)研究助成金等受賞者

## (1) 研究助成 (交付金額:1件150万円)

課題番号1 筋骨格系及び結合織の機能保持に関する研究			
氏名	所属	職名	研究項目
あまの かつひこ 天野 克比古	岡山大学学術研究院 医歯薬学域 顎口腔再建外科学	講師	頭蓋縫合早期癒合症モデルでの単細胞解析の応用による分子機序の解明
おおやぶ まもる 大藪 葵	京都府立大学 生命環境科学研究科 分子栄養学研究室	日本学術振興会特別研究員	骨格筋萎縮におけるFoxOsシグナルの機能的役割の解明ー筋萎縮発症の分子基盤の確立を目指してー
おぎの たかゆき 荻野 崇之	大阪大学大学院 医学系研究科 炎症性腸疾患治療学	寄附講座准教授	オートファジーを標的とした炎症性腸疾患関連サルコペニア治療法の開発
かどぐち ともやす 門口 智泰	東京大学大学院 総合文化研究科 身体運動科学研究室	助教	サルコペニアのメカニズムを紐解くー細胞老化関連分泌形質に着目してー
かばら まき 鹿原 真樹	旭川医科大学 医学部 生化学講座	助教	骨格筋分化能を有する毛細血管幹細胞の臨床応用に向けた分子基盤の解明
かわもと まこと 川元 真	福岡大学筑紫病院 外科	助教	臓器相関に着目した腓切除術後の2次性サルコペニアの病態解明と予防法の開発
しのはら けいすけ 篠原 啓介	九州大学 九州大学病院 循環器内科	医員	脳内炎症に着目したがんサルコペニアの新規病態機序の解明
しぶさか かずひろ 澁坂 和大	昭和大学 歯学部 歯科矯正学講座	大学院生	変形性顎関節症モデルの新規開発と病態メカニズムの解明
しんじょう たかのり 新城 尊徳	九州大学大学院 歯学研究院 口腔機能修復学講座 歯周病学分野	助教	インスリン感受性改善薬の局所的投与による糖尿病関連創傷治癒促進法開発のための基盤研究
たかすぎ まさき 高杉 征樹	大阪公立大学大学院 医学研究科 病態生理学	助教	プロテオスタシスの改善によるサルコペニア治療法の開発
つの ひろたか 津野 宏隆	国立病院機構相模原病院 臨床研究センター リウマチ性疾患研究部	医長	NGFとendothelin-1の関連に着目したOAの滑膜病変の解明
ないとう きよひと 内藤 聖人	順天堂大学 医学部 整形外科学講座	准教授	加齢にともなう末梢神経軸索再生能力低下の病態解明と新規治療法の探索
なかがわ たかひろ 中川 敬博	防衛医科大学校 整形外科学講座	大学院生	骨格筋特異的にLbx1遺伝子を欠失した遺伝子改変マウスを用いた思春期特発性側弯症の病態解明
なかもち りょう 中道 亮	岡山大学病院 整形外科	医員	メカニカルストレス応答制御による新規椎間板繊維輪治療法の開発
なぎら けいた 柳楽 慶太	鳥取大学医学部 附属病院 整形外科	助教	変形性関節症における関節軟骨の軟骨内骨化と滑膜線維化の関連性
はない ひろと 花井 洋人	大阪大学医学部 附属病院 整形外科	医員	MSC由来細胞外小胞が骨-腱修復部の炎症関連細胞に寄与する作用の解明
ひらた ひろひと 平田 寛人	佐賀大学医学部 整形外科学教室	助教	骨粗鬆症治療の新たな標的-時計遺伝子DEC1が骨形成に与える影響の研究
ひらた ゆう 平田 悠	神戸大学大学院 医学研究科 糖尿病・内分泌内科学	医学研究員	「筋-脳-腸連関」を基軸としたサルコペニアの病態解明と治療法の開発
ふじた しんせ 藤田 進世	東京大学大学院 医学系研究科 疾患生命工学センター 臨床医工学部門	大学院生	骨発生機構の生物種間比較によるヒト特異的骨再生因子の同定
ほそだ りゅうすけ 細田 隆介	札幌医科大学 医学部 薬理学講座	助教	蛋白アセチル化修飾からのサルコペニア発症の機序解明と治療への応用
ほりい なおき 堀居 直希	熊本大学 発生医学研究所 筋発生再生分野	研究員	サルコペニアの発症に関与する細胞極性因子の新規作用
まえむら みき 前村 美希	昭和大学大学院 歯学研究科 顎顔面口腔外科学講座	大学院生	低酸素環境下にある運動器の硫黄呼吸による恒常性維持機構の解明
みつはし ひろあき 三橋 弘明	東海大学 工学部 生物工学科 三橋研究室	准教授	顔面肩甲上腕型筋ジストロフィーにおける非コードDNAからの新規タンパク質産生
やすこうち ともよ 安河内 友世	九州大学大学院 歯学研究院 OBT研究センター	准教授	脂肪細胞の分化と恒常性維持におけるId4の役割
よしもと ゆき 吉本 由紀	東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 分子発生・口腔組織学分野	講師	腱・靭帯の生理的加齢変化と慢性炎症に関わる分子機構の解明
よねき けい 米木 慶	JA神奈川県厚生連 相模原協同病院 医療技術部 リハビリテーション科	理学療法士	急性心不全患者の嚥下機能に対してElectrical Muscle Stimulationの早期介入が与える効果に関する研究

課題番号2 皮膚の健康と老化防止に関する基礎的研究

氏名	所属	職名	研究項目
いしい ともひろ 石井 智裕	日本医科大学 先端医学研究所 病態解析学部門	助教	ペリサイトが血管恒常性を維持するメカニズムの解明と皮膚の老化防止への応用
おおがき りゅういち 大垣 隆一	大阪大学大学院 医学系研究科 生体システム薬理学	准教授	皮膚バリア機能に必須の新規脂質代謝過程の解明
おがわ もとゆき 小川 基行	東京大学大学院 薬学系研究科 細胞情報学教室	特任研究員	皮膚の恒常性を維持する競合的コミュニケーションの理解
とくやま たけし 徳山 剛士	自治医科大学医学部 再生医学研究部	ポスドクター	ミトコンドリア異常を原因とした紫外線による皮膚老化メカニズムの解明
ぺん ぐ 彭 戈	順天堂大学大学院 医学研究科 皮膚科学・アレルギー学講座	大学院生	アトピー性皮膚炎における上皮成長因子受容体のリガンドであるベータセルリンの治療効果とそのメカニズムの解明
ほりぐち はるき 堀口 晴紀	熊本大学大学院 生命科学研究部 分子遺伝学講座	特任助教	ミトコンドリア機能恒常性と皮膚老化の連関解明
みやけ たかひと 三宅 崇仁	京都大学大学院 薬学研究科 医薬創成情報科学専攻	助教	老化に伴う皮膚ホメオスタシス低下の克服を目指した生物時計時刻調律機構の解明
やなぎ てるき 柳 輝希	北海道大学 北海道大学病院 皮膚科	講師	既存薬/核酸医薬ライブラリーを用いた血管肉腫に対する新規治療法開発
わく つよし 和久 剛	同志社大学 生命医科学部 医生命システム学科 遺伝情報研究室	准教授	転写因子Nrf3を標的としたシミ予防研究へのHIV-1プロテアーゼ阻害剤(HIV-PI)リポジショニング

課題番号3 機能低下、個人差等による薬物等の体内動態に関する研究

氏名	所属	職名	研究項目
おまた だいき 小俣 大樹	帝京大学 薬学部 薬物送達学研究室	講師	マイクロバブルと超音波を用いた脳腫瘍へのナノ粒子送達に関する薬物動態学的解析と脳腫瘍治療法の構築
かたやま りょうへい 片山 量平	公益財団法人がん研究会 がん化学療法センター 基礎研究部	部長	がん分子標的薬耐性出現時期の個人差を生むゲノム・エピゲノムの解析と新規標的探索
すすきだ たけし 薄田 健史	富山大学 和漢医薬学総合研究所 生体防御学領域 がん・免疫ユニット	助教	HLA多型の関与する薬物過敏症発症の個人差をもたらす環境因子の探索
なりた ゆうき 成田 勇樹	熊本大学病院 薬剤部	助教	腎障害時特異的血栓症に対するインドキシル硫酸の産生・蓄積阻害による予防戦略の基盤確立
ひらい けいた 平井 啓太	信州大学大学院 医学系研究科 臨床薬理学分野	准教授	糖尿病患者のCYP3A活性変動と炎症病態との関連の解明
ふくど まさひで 福土 将秀	札幌医科大学 医学部附属病院 薬剤部 医学部医療薬学	教授	抗体医薬品の免疫原性の個人差要因解明とその制御を応用した至適投与方法の開発研究
ほりた やすひろ 堀田 康弘	名古屋市立大学大学院 薬学研究科 臨床薬理学分野	講師	リアルワールドデータを活用したテイコプラニンの精密投与設計支援ソフトの開発
やすじま ともや 保嶋 智也	名古屋市立大学 医薬学総合研究院(薬学) 薬物動態制御学分野	講師	新規小胞膜局在型モノアミントランスポーターの同定と脳内モノアミン動態への影響評価

課題番号4 疼痛治療に関する研究

氏名	所属	職名	研究項目
きよい たけし 清井 武志	金沢医科大学 医学部 薬理学講座	助教	神経因性要素に着目したS-1がん化学療法時に生じる眼症状副作用の機序解明
こが けいすけ 古賀 啓祐	兵庫医科大学 医学部 生理学 神経生理部門	助教	青斑核抑制性神経回路の疼痛調節及び慢性疼痛における役割解析
こだま たかし 児玉 貴史	東京女子医科大学 医学部 生理学講座 神経生理学分野	助教	末梢神経障害は視床で触覚→痛覚クロストークを起こすか？：上位中枢起源のアロディニア発症機序の研究
すがわら たけゆき 菅原 健之	北里大学 医学部 解剖学教室	助教	慢性疼痛における神経成長因子シグナルの新たな制御機構としてのArf6小胞輸送の機能解明
たかはし ゆかり 高橋 由香里	東京慈恵会医科大学 総合医科学研究センター 神経科学研究部	助教	疼痛・炎症連関の脳機構の解明
なかむら ようき 中村 庸輝	広島大学大学院 医系科学研究科(薬) 薬効解析科学	助教	パーキンソン病に付随する難治性疼痛発症機構の解明と新規鎮痛薬の創製
なかもと かずお 中本 賀寿夫	神戸学院大学 薬学部 臨床薬学研究室	講師	痛みの定量化を可能とした次世代型鎮痛薬評価システムの開発
ほそぬま まさひろ 細沼 雅弘	昭和大学 臨床薬理研究所 臨床免疫腫瘍学	講師	抗PD-L1抗体による免疫関連有害事象(irAE)-炎症性関節炎の疼痛治療基盤の確立

課題番号5 運動を中心とした健康増進に関する研究

氏名	所属	職名	研究項目
あだち たくじ 足立 拓史	名古屋大学大学院 医学系研究科 総合保健学専攻 予防・リハビリテーション科学 創生理学療法学講座	助教	フレイルを有する高齢心不全患者の筋力発揮特性の解明と運動療法への応用に向けた研究
ありはら ようへい 在原 洋平	札幌医科大学 腫瘍内科学講座	研究員	運動による末梢血へのリンパ球動員は、がん細胞免疫療法に応用可能か？
おおた けんいち 太田 健一	香川大学医学部 形態・機能医学講座 神経機能形態学	助教	乳幼児期の不遇な養育経験が前頭前野にもたらす影響は学童期までの運動経験で回復しうるのか
おおやま かなめ 大山 要	長崎大学大学病院 薬剤部	教授	冬眠現象の分子機序をサルコペニア防止の運動療法開発に応用するための基盤研究
かつまた よしのり 勝俣 良紀	慶應義塾大学 医学部 スポーツ医学総合センター	講師	低酸素環境下運動を活用したがん増殖抑制メカニズムの解明
かとう ひさし 加藤 久詞	独立行政法人国立病院機構 京都医療センター 臨床研究センター 内分泌代謝高血圧研究部	主任研究員	単球・マクロファージ・ミクログリア由来TREM2に着目した運動による慢性炎症改善の新規分子機序の解明
こんどう まこと 近藤 誠	大阪公立大学大学院 医学研究科 脳神経機能形態学	教授	運動の質や種類に着目した脳有益効果とその作用メカニズムの解析
しんどう だいすけ 進藤 大典	日本大学 薬学部 薬学科 健康・スポーツ科学研究室	准教授	幼若齢期の運動によるエピジェネティクス制御機構の解明
たけがき じゅんや 竹垣 淳也	立命館大学 スポーツ健康科学部 藤田研究室	研究員	間葉系幹細胞は運動による糖尿病誘発性筋萎縮の改善効果を促進するか？
たしろ しょういち 田代 祥一	杏林大学 医学部 リハビリテーション医学教室	講師	脳卒中重度上肢麻痺患者に対する外来ニューロリハビリテーション：経頭蓋交流刺激と閉ループ神経筋電気刺激の併用療法
にしたに なおや 西谷 直也	金沢大学医薬保健研究域薬学系 薬理学研究室	助教	運動へのモチベーションを制御するモノアミン神経回路の解明
やまこし せいこ 山越 聖子	東北大学 薬学部 薬学研究科 臨床薬学分野	助教	ウレミックサルコペニアのミトコンドリア機能障害を標的とする運動がもたらすマイオカインの分子メカニズムの解明
やまなか こう 山中 航	順天堂大学 スポーツ健康科学部 生理学研究室	准教授	運動習慣による認知機能向上メカニズム解明に向けたモデル開発：ドーパミンシグナル活性が適応的な行動選択学習に及ぼす影響
よう じゅんこう 姚 潤宏	日本保健医療大学 保健医療学部 理学療法学科	助手	新規デュアルリズム座位運動装置による高齢者の脳-身体機能の老化予防効果と作用機序解明